

会 議 記 録 (1)

会議名称	令和元年度第1回北本市公共施設等総合管理計画推進審議会		
開会及び閉会日時	令和元年7月30日(火)	午前10時00分	開会 午前12時00分 閉会
開催場所	文化センター第2研修室		
会長氏名	天神 良久		
出席委員(者)氏名	天神 良久 高橋 聡一 福島 孝助 諏訪 千加子 高松 勝義	井野 千広 高橋 誠 狩野 曜子 深谷 忍	岩田 俊子 高橋 博 高松 隆士 嶋田 和敏
欠席委員(者)氏名	小澤 好夫		
説明者の職氏名	契約管財課 施設再編担当 主幹 津田 実		
事務局職員職氏名	総務部 契約管財課 施設再編担当	部長 江口 誠 課長 山崎 寿 主幹 津田 実 主査 原田 和則	
会議次第	1 開会 2 委任状交付 3 市長あいさつ 4 委員紹介 5 会長、副会長互選 6 会長、副会長あいさつ 7 諮問 8 説明「公共施設に係る現状と課題及び今後の取組みについて」 (1) 公共施設等総合管理計画について (2) 公共施設マネジメント実施計画(適正配置計画、個別施設計画) (3) 将来費用の試算について		

会 議 記 録 (2)

	(4) 今後のスケジュール 9 質疑応答 10 閉会
配布資料	資料1 北本市公共施設等総合管理計画推進審議会委員名簿 資料2 北本市公共施設等総合管理計画推進審議会関連例規 資料3 令和元年度第1回北本市公共施設等総合管理計画推進審議会資料 別添資料1 公共施設マップ(地域別) 別添資料2 公共施設マップ(小学校区別) 別添資料3 地域別施設配置 別添資料4 北本市公共施設等総合管理計画

会 議 記 録 (3)

事務局	1 開会
市長	2 委嘱状交付 【三宮市長から委嘱状の交付】
市長	3 市長あいさつ
各委員	4 委員紹介
仮議長 (市長)	5 会長、副会長の互選 【会長が選出されるまで、市長が仮議長となる】 【委員の互選により、天神委員が会長に選出】
議長	【会長が選出されたので、これからの会議において会長が議事を進行】 【委員の互選により、井野委員が副会長に選出】
会長 副会長	6 会長、副会長あいさつ 【天神会長あいさつ】 【井野副会長あいさつ】
市長	7 諮問 北本市公共施設等総合管理計画の推進について（諮問） 公共施設等総合管理計画の推進に関する事項として、下記のことについて、貴審議会の意見を求めます。
議長	記 1 公共施設マネジメント実施方針及び適正配置計画の策定について それでは、これからの会議において、事務局から事前に諮るべき事項はございますか。
事務局	「北本市附属機関等の会議の公開に関する規則」に準じ、委員の皆様にお諮りして、会議の公開及び資料の閲覧を決定したいと考えております。よろしければ、この場で会議の公開と

会 議 記 録 (4)

	資料の閲覧の可否について、委員の皆様にご意見を伺っていただきたいと思いますと考えております。
議長	事務局から提案がありました会議の公開と資料の閲覧について御意見はありますか。
各委員	【意見なし】
議長	特に御意見がなければ、会議を公開するとともに資料の閲覧を認めることとします。
議長	それでは、本日の議題に進むため、事務局には、傍聴人への御案内をお願いします。
	【傍聴人を傍聴席へ案内】
事務局	8 説明 それでは、次第8、説明「公共施設に係る現状と課題及び今後の取組みについて」を説明します。
説明者	【資料3、別添資料1、別添資料2、別添資料3、別添資料4に基づき説明】
議長	9 質疑応答 それでは、次第9、質疑応答に入ります。ただいまの説明につきまして御意見や御質問がありましたらお願いします。
会長	別添資料3は施設ごとに耐震化状況が区分されていますが、耐震補強されていない施設はどのくらいありますか。
事務局	小規模施設があります。消防団車庫は今年度建替えを行っております。数量的にはほとんどありません。
会長	耐震というと、新耐震基準と新耐震基準前の建物に分かれますが、ほぼ耐震基準を満たしているということになります。
副会長	コストについて、基本方針には「施設の長期活用」と「規模

会 議 記 録 (5)

事務局	<p>の最適化」があり、維持するのと取り壊しするのはどれくらい差があるのか、また、一度に行うと予算がなくなるので、どのくらい必要となるのか、資料を提示してほしいです。</p> <p>まだそのような資料を作成しておりませんので、次回、資料を御提示します。</p>
会長	<p>資料でも少子高齢化は避けられない状況で、市の人口がかなりの勢いで減っていく可能性があります。そして、小学校の学級数もかなり減っていくことが示されておりますが、地域別の児童・生徒の推計や小中一貫校の検討などを示してほしいと思います。</p>
事務局	<p>手元に資料がありませんので、次回、資料を用意します。</p>
会長	<p>小中学校は耐震補強され、空調も入っていると思いますが、現在、空調はすべて入っているのか、外壁の補修をしているのか、具体的にどのような状況なのでしょう。</p>
事務局	<p>平成7年の阪神淡路大震災をきっかけに耐震化を進め、小中学校はすべて耐震化が完了しています。一部の北本中学校B棟以外は耐震化が進んでいます。また、平成27年度までにほぼ全校に外壁改修と空調設備の設置が完了しています。</p>
会長	<p>今年は梅雨明けが遅く、空調問題はまだまだ多くありません。今後落ちてくるのは安全性です。事故につながる危険性もあります。総務省の推進とともに、建築物をお持ちの公共機関は検討しなければならない時期にきています。学校は早めに国が予算をつけていますので比較的 안전한状況ですが、子どもが減っていく中では空いてくることは間違いがなく、県としては公共施設等総合管理計画で注意すべきことはありますか。</p>
嶋田委員	<p>公共施設等総合管理計画の概要については、先ほど説明がありましたので、それに基づいて検討いただきたいと思います。財政的な面と施設の安全性という問題もありますので、十分配慮してほしいと思います。</p>

会 議 記 録 (6)

<p>会長</p>	<p>公共施設が加害者になる危険性もあり、注意が必要です。古いものを大切にすればそれが一番よいことです。大切に使う中で、メンテナンス等正しいアプローチを行い、安全であれば80年使うことがあってもよいことです。大学でも調査しており、昨今は80年、100年建築に向かって舵を切り直している団体もあります。非常に使われているとか、コンクリートの性能が維持されているとか、技術的なものをクリアし、使えるものは使っていくことが考えられます。60年、80年維持するならば、適切な改修を考えなければなりません。今日明日の話ではなく、今後40年間の中で長寿命化できるグループ、または少子高齢化に合わせて縮減できるグループを考え、市の財政も踏まえながら、バランスよくアイデアを出せればと思っております。</p>
<p>副会長</p>	<p>海外には古い建築物が多く、日本とどのような違いがあるのでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>基本的には建物は礎石造、コンクリート造になっていることや環境の違いがあります。日本は湿度が高いため、建物を長く使うには不利な環境にあります。ただし、神社・仏閣などの木造でも長く保っていますので、維持・メンテナンスのやり方によるものといえます。日本のコンクリートによる建築物は頑丈に見えますが、昨今問題が起きているのはメンテナンスをしないで雨漏りして水がコンクリートの中に入ることです。コンクリートはアルカリ性で、その中に鉄筋が入っていて、アルカリ性であれば鉄も錆びないで長持ちします。ヨーロッパでは、非常に長く大切に使っています。今の公共機関の予算の付け方が事後保全とあって、壊れたら直すという方法で、予算の執行上やむを得ないことではありますが、適正な時に修繕すれば適正な金額で修繕することができると思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>市役所と複合施設になっている児童館には、学童保育所が入っていると思いますが、どうなっているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>児童館の中の事業としてやっているため、分けて記載しておりません。</p>

会 議 記 録 (7)

<p>会長</p>	<p>15年くらい前から国交省等から資料が出ており、例えば20億円の施設を建設した場合、将来60年維持するのに60億円かかるという数字が出されております。建設コストばかりに目がいきますが、メンテナンスコストが重要です。また、省エネも重要です。窓ガラスに断熱フィルムを貼るだけでも、空調コストが5年、10年スパンでは下がる可能性があります。両輪です。壊れたら直すではなく、早目に対処することで削減ができます。数億円の話はすぐには対応できませんが、できることから早めに行うことが必要です。</p>
<p>会長</p>	<p>市では延べ床面積を減らしたいとの大きい方針があります。空調が故障寸前という状況は30年経過すると多くなります。今年すべてが決まるわけではなく、どの施設群は今後も長く使うのかがわかれば、早めに大規模改修することができます。この計画により、早めの改修予算を付けようという流れも出てきます。市や審議会で議論すれば案が出てくると思います。また、指定管理を包括で複数施設を管理するという方法は昨今出てきています。今の委託契約はすぐには変えられないと思いますが、今後の発注の仕組みも検討してほしいと思います。3、4年先であれば、修繕費用や包括委託について検討の余地はありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、6割の公共施設が築30年を迎え、10年後には8割に達することが見込まれ改修の必要があります。しかし、財政的な制約から、すべてに対応することは困難です。公共施設に対して、今後は包括的な管理手法や民間資金の活用等を研究して、できる限り財政負担を軽減しつつ、必要な部分には予算を計上する仕組みを考えなければなりません。また、1年間に使える費用には制限があり、平準化の手法も合わせて検討していく必要があります。</p>
<p>会長</p>	<p>国でも各自治体に対して、建物や道路の維持管理について見直しを4年前に要請し、自治体は状況を公開してきました。これからの維持管理をどのようにするかは、いわば知恵の出し合いです。例えば、廃校になった小学校に建替時期を控えた市庁舎を移転した事例や学校にデイケアセンターや小さな図書館といった異なる用途を複合化する事例もあります。北本</p>

会 議 記 録 (8)

	<p>市でも行っているように、すべての学校がプールを持つのではなく、一部を廃止して、民間プールを活用する事例もあります。空いた土地は民間に売却したり、貸したりすることも考えられます。総量削減のやり方は様々あります。</p> <p>本日は財政や保有するアセットの状況を把握できたのではないかと思います。次回以降に向けて、事務局を中心に資料を作成していきたいと思います。</p> <p>会長 以上で、質疑応答まで終わりましたので、進行を事務局に戻します。</p> <p>事務局 以上をもちまして、令和元年度第1回北本市公共施設等総合管理計画推進審議会を終了したいと思います。</p> <p>それでは、閉会の御挨拶を副会長にお願いします。</p> <p>10 閉会</p> <p>副会長 本日は、審議会の発足ということもあり、委嘱から長時間にわたり、お疲れ様でした。これをもちまして、会議を閉会とします。ありがとうございました。</p>
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。</p> <p>令和元年 10月 1 日 会長 天神 良久</p>	